

庄原民報

2009年4月

日本共産党庄原市委員会  
庄原市西本町一丁目4-10  
TEL・FAX 72-3366

日本共産党庄原市委員会の政策を紹介します。ご意見をお寄せください。

市民のくらしの守り手



# なくてはならない日本共産党の3議席

## お約束

- 若者の働く場の確保
- 日赤での出産医療の再開
- 第2子、第3子の保育料を無条件で軽減
- 中学3年生まで医療費の無料化
- 耐震診断に基づく庄原小中学校等の建替
- 国保税の引き下げ
- 老人ホームの増設、高齢者医療の充実、後期高齢者医療制度の廃止
- 資源ゴミ、紙おむつの無料収集
- 食料自給率の向上、米の価格保障制度の復活、イノシシ駆除の徹底
- 住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設



財源は、不要、不急の大型建設事業の凍結や経費の節減で生みだします

4年間で180件の生活相談  
その8割を解決

これからも みなさんの相談相手として 全力をつくします。  
生活保護、高齢者医療費の減額問題、就学援助、訪問販売のクーリングオフ（契約解除）、サラ金、ヤミ金など、なんでも 気軽にご相談ください。

ください。

市民の願いを実現するため、あなたのお力を日本共産党にお貸し

今回の市議会議員選挙は、定数25（8減）の大激戦です。

つすく市政に届ける日本共産党の3議席がどうしても必要です。

め、バラまき財政やムダ遣いをやめさせ、市民のみなさんの声をま

市民のくらしが大変なときだからこそ、市民の目線で市政を見つ

「定数8減」の大激戦です  
あなたのお力をくらしの守り手  
日本共産党にお貸しください

日本共産党

日本共産党はみなさんの声にこたえ

# 市民のくらし、福祉、教育を優先させています

- ケーブルテレビ事業(90億円)を凍結、安価なADSL(2億円)を整備
- 子どもの医療費助成を小6まで拡大(2009年4月から)
- 妊産婦検診の助成券を10回から14回に拡大(2009年4月から)
- 一人ぐらし高齢者、障がい者の安否確認を2週間に1回から週1回に増やさせる(2008年4月から)
- 要介護認定者の障害者控除認定(一般27万円、特別障害者40万円)制度の周知徹底(いずれも所得税の控除額)
- 古新聞の無料収集の実現(2005年12月から)
- 庄原中学校の給食始まる(2007年4月から)  
校舎の建て替えも2010年度からに

**市民の声を市政に生かし  
要望の実現に全力をつくしています**

日本共産党の議員は、議案に賛成するか、しないかは、「市民の利益になるか、ならないか」で判断しています。

「何でも反対する」「重箱の隅をつつくような質問をする」というのは、根拠のない中傷です。

財政難のときだからこそ、日本共産党の議員は、市民の目線で市政を見つめ、市民のみなさんの声を生かして、その実現に全力をつくしています。



**日本共産党**